

第9回アセアン+3農林大臣会合の結果概要

平成21年11月

農林水産省

1. 開催日・場所

平成20年11月11日（水） ブルネイ（バンダル・スリ・ブガワン）

2. 出席者

アセアン10カ国及び日本、中国、韓国の農林大臣等が出席。
我が国からは、村上農林水産省国際顧問が出席。

3. 議題：

- ① 日本、中国、韓国（+3国）からの意見表明
- ② アセアン+3の協力事業の進展 等

4. 会合の結果

(1) 我が国の発言を基に、以下の内容を盛り込んだ「共同プレス・ステートメント」がとりまとめられた。

- ① それぞれの国が利用可能な資源を最大限に活用し、農業生産性を高めることで食料安全保障を達成することが必要。
- ② （試験事業の）東アジア緊急米備蓄（EAERR）を恒久的メカニズムに移行させるための作業を行い、早期に実現させることに合意。
- ③ アセアン食料安全保障情報システム（AFSIS）の更なる進展を歓迎。
- ④ 東アジア・バイオマス・タウン・プロジェクトを評価し、持続的なバイオマスの利用促進の重要性を認識。

(2) 我が国から、来年10月に日本で開催するAPEC農相会合への関係国の参加を要請。